

【取組内容①】 個別最適な学び、協働的な学びにおける一体的な充実

第6学年 算数科 D「データの活用」(2) 場合を順序よく整理して

本時の目標

起こり得る場合を順序よく整理し、目的に合うものがどれかを考えることができる。

【仮説】

児童が自分の能力や興味関心、用途に合わせて選べるようなデジタル教材・教具を準備したり、考えを共有しやすくするようなICT環境を整えたりすることで、個別最適な学びや協働的な学びの充実を図ることができるであろう。

ICTの活用方法（個別最適な学び,協働的な学びに効果的なICTの利活用）

- ・画面を操作して図を作れるワークシート（タブレット・ジャムボード）
- ・デジタル教科書（電子黒板）
- ・評価問題の解き方を共有する（スライド）

→児童自身が学習方法・学習形態の選択を行う。

（個人、ペア、グループ）

